

令和6年度の教育活動を振り返って

福島県立湖南高等学校長

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、12月上旬に生徒・教職員・保護者の皆様を対象に実施しました学校評価アンケートの調査結果をまとめましたので、以下の通り報告させていただきます。

この結果を踏まえて、今年度の学校経営・運営に関する評価を行い、新年度の学校経営・運営ビジョンの策定の参考といたします。ご協力ありがとうございました。

【アンケート結果分析】

今回のアンケート結果から、次のようなことが読み取れました。

- 「学校生活に満足している」と回答した生徒は86.2%、保護者は90.7%といずれも昨年の比較から後退している。生徒、保護者からの声を聞き、課題を見つけ充実した高校生活が送れるよう努める。
- 「授業が分かりやすい」と回答した生徒は87.9%と昨年からは2.2ポイント上昇。保護者は88.1%と10ポイント以上後退している。教育活動の基本である授業を大切に生徒一人一人の能力や特性に合ったものとなるよう努める。
- 「朝の学習をとおして、学習の基礎基本が身についた」と回答した生徒は81.0%と14.95ポイント上昇。教員も95.5%と上昇し、取組方法について改善できている。ただ、保護者の回答として90.7%と9.3ポイント後退しており家庭との隔たりが見られる。
- 「授業の予習・復習や宿題など、家庭学習に取り組んだ」と回答した生徒は56.9%、教員は63.9%であった。昨年度に比べ生徒、教員ともに評価ポイントが後退しており、習慣的に学びに向かう姿勢を身に着けられる環境を整える工夫する必要がある。
- 「考査などには目標を定めるなど、事前に準備して臨んだ」と回答した生徒は82.8%と7.8%のポイント上昇。保護者は64.2%、教員は50.0%と昨年より横ばいであり、生徒と保護者、教員の乖離がみられる。家庭学習は学びを支えるものとする共通理解のもと、生徒一人一人に応じた家庭学習を継続的に実践させることが必要である。
- 「本に親しみ、月1冊以上の読書を行った」として生徒評価は29.3%であるが、教員評価は100%、保護者評価は75.9%であった。評価は昨年度と大きな変化はなく、読書の習慣化に向けた学校の取組については一定の評価をされていることが窺えるが、生徒の読書に対する意識の向上を図ることが必要である。
- 「進路希望に応じた個別指導（授業、添削、個別学習指導、面接指導など）に積極的に参加した」は、教員100%、保護者92.2%と昨年度より向上している。また、「自らの進路実現のための活動を行った」で生徒評価も70.7%と10ポイント向上しており、個に応じた指導と生徒が主体的に進路活動に取組んでいる。
- 「社会や学校のルールやモラルを考え、判断し、行動できた」とについては高水準を維持している。生徒評価についても、昨年度より5.8ポイント向上しており、今後更に生徒の自発的な意識高揚に繋がるよう努める。
- 「部活動・委員会活動」では、生徒評価が87.9%と11.1ポイント、教員評価も90.9%と昨年度より向上しているが、保護者は前年に比べ12.8ポイント後退しており、家庭との隔たりが見られる。
- 「『湖南高校だより』など、学校からの配布物の内容を確認し、保護者に渡した」と回答した生徒は62.7%となり、昨年度より5.6ポイント上昇した。一方で保護者は79.6%と12.9ポイント後退しており、プリント類が届いていない傾向が読取れるので対策が更に必要である。
- 「ボランティア活動等」についての教員・保護者の評価は、95%以上だが生徒評価は75.0%であった。ボランティア等には参加したものの、受動的な態度での参加であり、積極的・主体的に参加できていない生徒がいることが窺える。
- 「湖南への興味・関心・理解」については、教員・保護者の評価に比べると、生徒の評価は低い傾向にある。積極的・主体的に湖南と関わる態度を養成していく必要がある。
- 「信頼される学校づくりに努めている」と回答した生徒は84.5%と前年より11.3ポイント上昇。保護者も96.3%と高い評価を得ている。
- 「コミュニティ・スクールとして地域の特色を生かした学び・学校づくりをしている」と回答した生徒は87.9%と10.1ポイント上昇し、今年度取り組んできたことに対して高い評価を得ていることが窺える。

【来年度に向けて】

今回のアンケート結果を踏まえ、次のような点を重点的に取り組んでいくことを考えております。

- 学校生活に満足している生徒が多いが前年度と比較すると後退しており、その結果を踏まえ、生徒にとって更に充実した学校生活になるよう取組を継続し、その魅力を発信していく。
- 生徒一人一人が意欲的に取り組むことができる授業を提供するために、個別指導やICTを活用した授業の展開、教員間における相互研究・互見授業を継続的に実践していく。
- 「朝の学習」のあり方、「資格取得」等は前年に比べより良い取り組みとなっていることから、生徒の実態に合わせた実施内容や取り組み方法を図っていく。
- 生徒の基礎学力を向上させるために、家庭学習の定着を図れるよう引き続き課題を課すとともに、学習時間の記録や一人一台端末を活用し、生徒の主体性と自己管理を促していく。
- これまで同様に読書推進の啓発活動を行うとともに、図書を整備を図っていく。
- コミュニティ・スクールとしての活動を通し、多くの経験と学びの中から何事にも主体的で前向きに取り組むことができる生徒の育成を目指す。
- コミュニティ・スクールとして保護者や地域の方々と協働し、地域課題解決に向けて取り組むとともに、その取組を生徒のキャリア教育に繋げることで自己実現を図っていく。

【あとうがき】

湖南高校は、『「地域創生に関わる日本一の学校」を目指して』をスローガンに、今年度もコミュニティ・スクールとして地域に方々の協力のもと、湖南の豊かな資源を活用した教育活動を行ってきました。

生徒は落ち着いて学習や各種行事に取り組むことができおり、アンケートの結果からもわかりますように、多くの生徒が充実した学校生活を送っています。

また、コミュニティ・スクールとしての取組は、進路活動にも生かされており、今年度も全員が希望通りの進路実現を果たしました。

これからも湖南高校は、生徒一人一人を真に大切にし、「基礎学力の定着と向上」「進路希望の実現」「人間性・社会性の育成」「開かれた学校づくり」を目指しながら、地域から信頼され愛される学校づくりを進めていきますので、保護者の皆様には今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

令和6年度 学校評価アンケート結果

◎ 回答数 生徒58名(100%) 教職員22名(100%) 保護者54名(96.4%) ※ 兄弟姉妹在籍数2家族

◎ 評価の数字は肯定的評価(A+B)である。

A…「とても当てはまる」 B…「だいたい当てはまる」 C…「あまり当てはまらない」 D…「全然当てはまらない」

◎ ※『傾向』の欄は、昨年度と比較して、生徒・保護者は5ポイント以上、教員は10ポイント以上増減があったものを矢印で表示している。 上段 R6評価 下段 R5評価

| NO | 質 問 | 生徒 | | 教員 | | 保護者 | |
|---------|---|----------------|----|----------------|----|-----------------|----|
| | | 肯定的評価 (A+B) | 傾向 | 肯定的評価 (A+B) | 傾向 | 肯定的評価 (A+B) | 傾向 |
| 重点 1 | 1 湖南高校での学校生活に満足している。 | 86.2% 91.1% | ↓ | 95.5% 100% | - | 90.7% 100.0% | ↓ |
| | 2 授業に意欲的に参加し、「わかる」「できる」を感じることができた。 | 87.9% 85.7% | - | 95.5% 100% | - | 88.9% 98.1% | ↓ |
| | 3 朝の学習をとおして、学習の基礎基本が身についた。 | 81.0% 66.1% | ↑ | 95.5% 88.0% | ↑ | 90.7% 100.0% | ↓ |
| | 4 授業の予習・復習や宿題など、家庭学習に取り組んだ。 | 56.9% 64.3% | ↓ | 63.6% 80.0% | ↓ | 79.6% 77.4% | - |
| | 5 考査などには目標を定めるなど、事前に準備して臨んだ。 | 82.8% 75.0% | ↑ | 50.0% 48.0% | - | 64.8% 64.2% | - |
| | 6 (生徒向け)本に親しみ、月1冊以上の読書を行った。 湖南高校では、生徒に対して読書への関心を持たせ、読書の習慣を持たせることに努めている。 | 29.3% 33.9% | ↓ | 100% 100% | - | 75.9% 69.8% | ↑ |
| 重点 2 | 7 LHRや総合的な探究の時間、学校行事などに積極的に参加した。 | 93.1% 89.3% | - | 100% 96.0% | - | 98.1% 100.0% | - |
| | 8 進路ガイダンスの時間(LHR・講話・見学体験など)をとおして、進路に対する意識が高まった。 | 87.9% 80.4% | ↑ | 100% 92.0% | - | 96.3% 98.1% | - |
| | 9 自らの進路実現のための活動を行った。 | 70.7% 60.7% | ↑ | 95.5% 88.0% | - | 90.7% 92.5% | - |
| | 10 進路希望に応じた個別指導(授業、添削、個別学習指導、面接指導など)に積極的に参加した。 | 69.0% 62.5% | ↑ | 100% 92.0% | - | 92.6% 100.0% | ↓ |
| | 11 資格取得や検定合格に向けた学習を行い、1つ以上取得・合格した。 | 56.9% 53.6% | - | 100% 96.0% | - | 92.6% 92.5% | - |
| 重点 3 | 12 “いつでも面接試験を受けられる端正な身だしなみ”で日々生活した。 | 84.5% 82.1% | - | 90.9% 100% | - | 94.4% 96.2% | - |
| | 13 笑顔で、相手の目を見て、明るく大きな声で自分から挨拶ができた。 | 79.3% 80.4% | - | 86.4% 92.0% | - | 90.7% 92.5% | - |
| | 14 社会や学校のルールやモラルを考え、判断し、行動できた。 | 89.7% 83.9% | ↑ | 100% 100% | - | 98.1% 90.6% | ↑ |
| | 15 部活動や委員会活動、生徒会活動などに積極的に取り組むことができた。 | 87.9% 78.6% | ↑ | 90.9% 88.0% | - | 77.8% 90.6% | ↓ |
| | 16 日常の清掃活動など、学校での自分の役目や役割を確実に果たした。 | 87.9% 83.9% | - | 95.5% 92.0% | - | 98.1% 96.2% | - |
| 重点 4 | 17 『湖南高校だより』など、学校からの配布物の内容を確認し、保護者に渡した。 『湖南高校だより』など、学校からの配布物は、湖南高校の状況や様子を保護者や地域に十分伝えている。 | 62.7% 57.1% | ↑ | 100% 100% | - | 79.6% 92.5% | ↓ |
| | 18 湖岸清掃や除雪ボランティアなどの行事に積極的に取り組んだ。 湖岸清掃や除雪ボランティアなど、湖南高校の行事は地域に貢献している。 | 65.5% 75.0% | ↓ | 100% 96.0% | - | 96.3% 96.2% | - |
| | 19 湖南に興味と関心を持っている。 お子さんは、湖南に興味と関心を持っている。 | 77.6% 69.6% | ↑ | 90.9% 96.0% | - | 87.0% 81.1% | ↑ |
| | 20 湖南について、基礎的な知識を持ち、その課題を知っている。 湖南高校では、自分の関わる地域の基礎的な知識や課題などがわかる機会づくりが行われている。 | 74.1% 76.8% | ↑ | 100% 100% | - | 98.1% 98.1% | - |
| | 21 社会貢献の意欲を持ち、社会をより良くするための行動をしようと思う。 湖南高校では、「生徒一人ひとりを大切に、人間性の育成や能力の伸長と、地域社会から信頼される学校づくり」が行われている。 | 84.5% 73.2% | ↑ | 100% 100% | - | 96.3% 98.1% | - |
| | 22 コミュニティ・スクールとして、地域とともに、湖南ならではの特色を生かした学びに参加している。 | 87.9% 76.8% | ↑ | 100% 100% | - | 94.4% 100.0% | ↓ |